

兵庫ヤクルトオリジナル調査「ヤクルトレディ100人に聞きました！」

「阪神・淡路大震災から30年。防災の日を前にヤクルトレディの意識調査を実施」

調査方法：社内アンケート

調査機関：自社調査

調査人数：150名

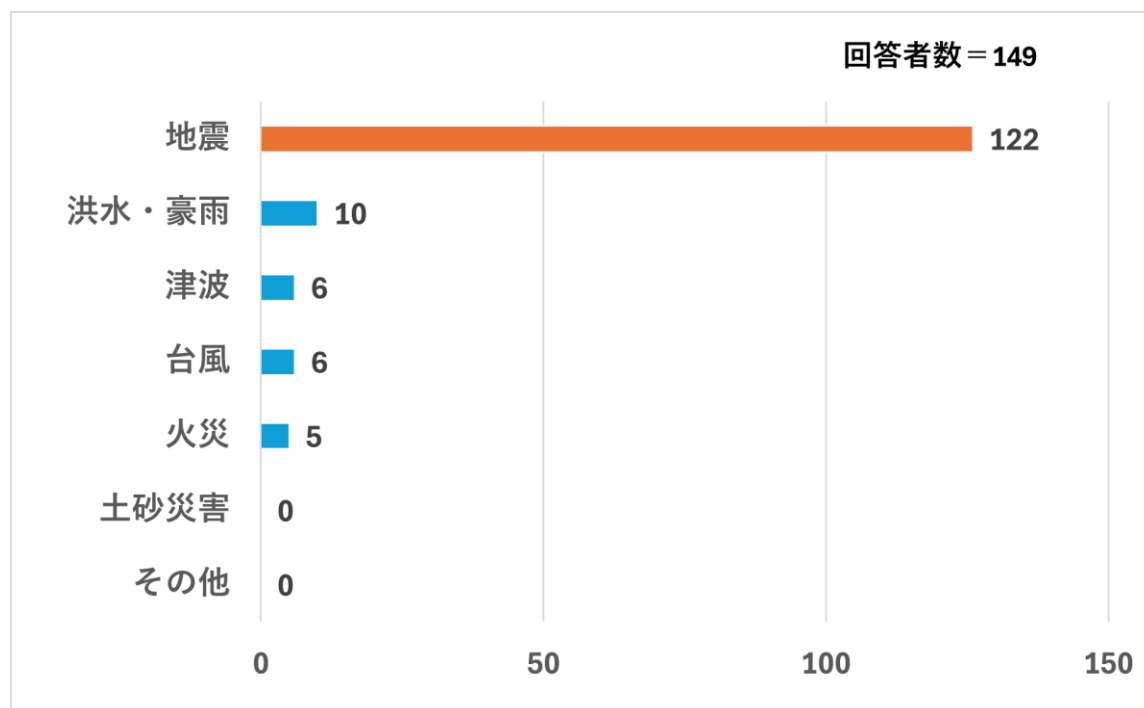
対象者：ヤクルトレディ

調査時期：2025年7月7日～7月23日

【調査理由】

今年は阪神・淡路大震災から30年の節目の年を迎え、また9月1日の「防災の日」を前に、ヤクルトレディに防災について改めて考えていただく機会として、ヤクルトレディ150人を対象に、防災意識に関するアンケートを実施しました。

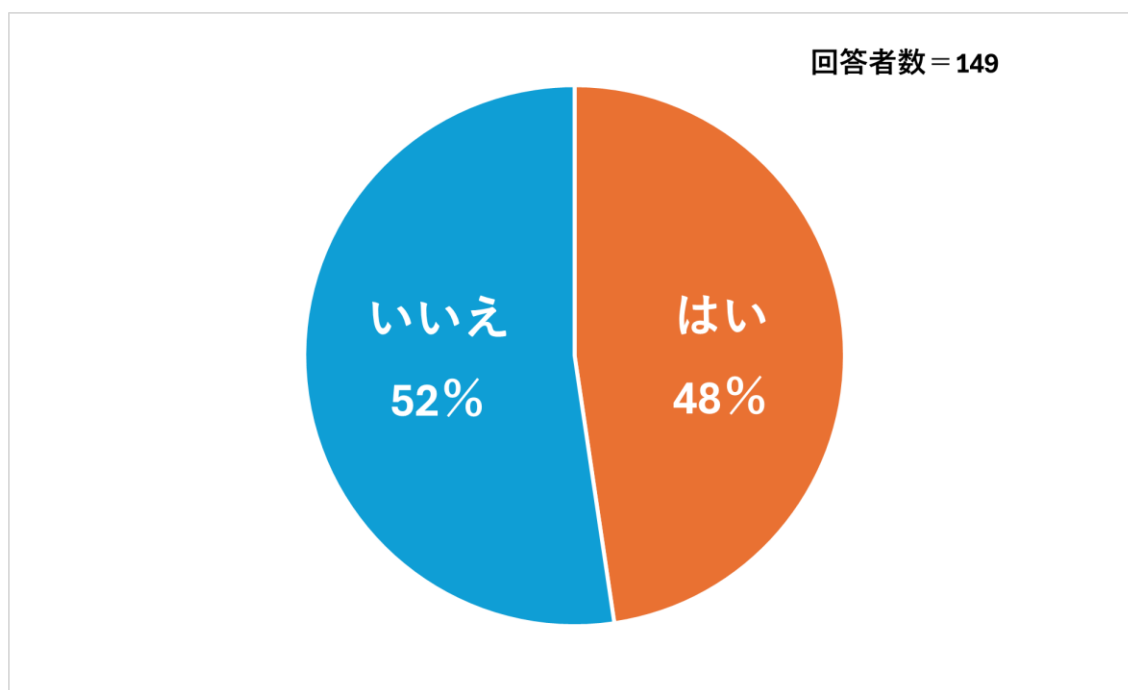
1. 最も心配している災害は何ですか？



約8割のヤクルトレディが最も心配している災害は「地震」だと回答しました。

過去の大震災の記憶や、日常的に発生する地震を踏まえ、災害のなかでも最も強く意識していることが分かりました。

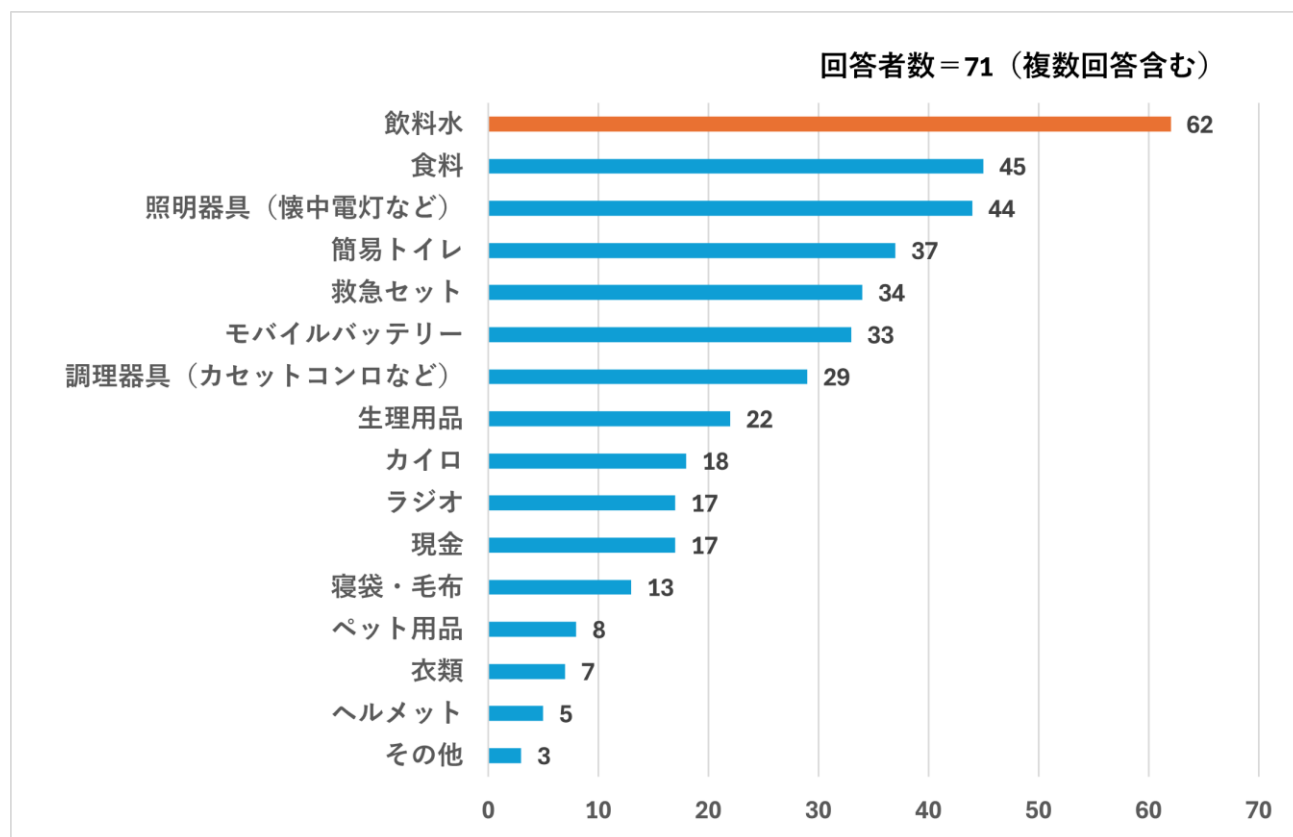
2-1. ご自宅で防災グッズを備えていますか？



防災グッズを備えている人と、備えていない人はほぼ同じ割合という結果になりました。

2-2. ご自宅で備えている防災グッズは？

※以下の設問には、2-1で「はい」を回答された方がのみが回答



Best 3

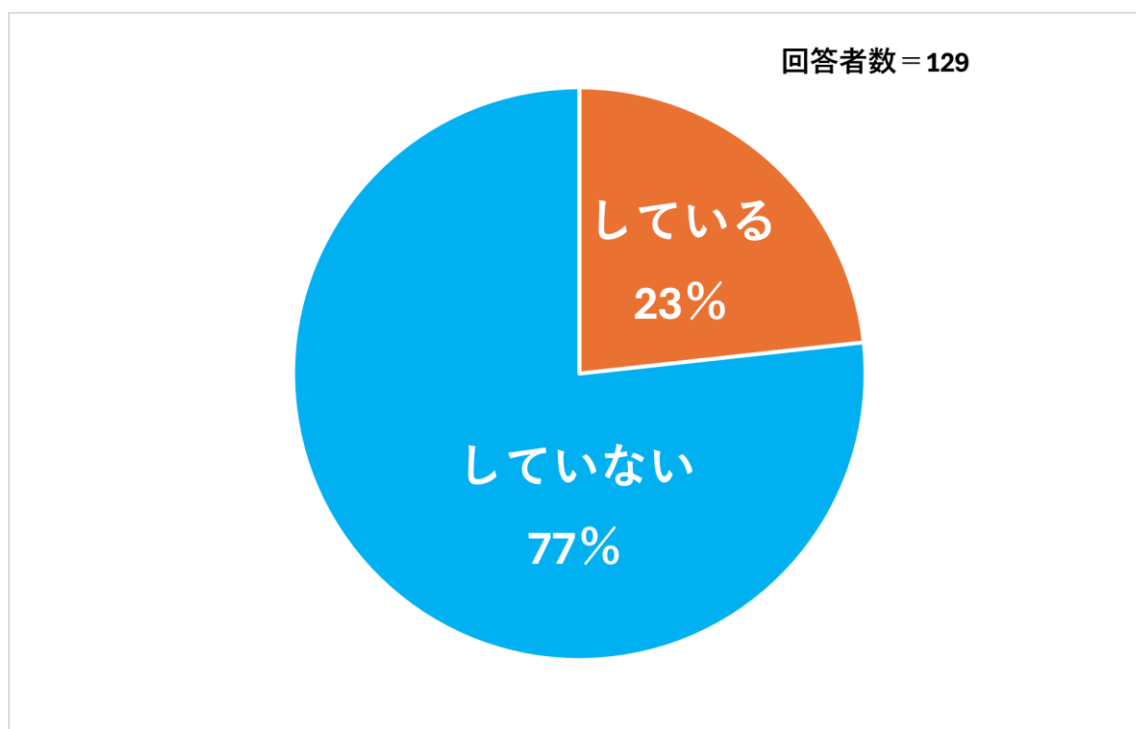
1位	飲料水	62票
2位	食料	45票
3位	照明器具（懐中電灯など）	44票

【その他の意見】

- ・裁縫道具
- ・「ヤクルト 薬用アパコート S.E.<ナノテクノロジー>」

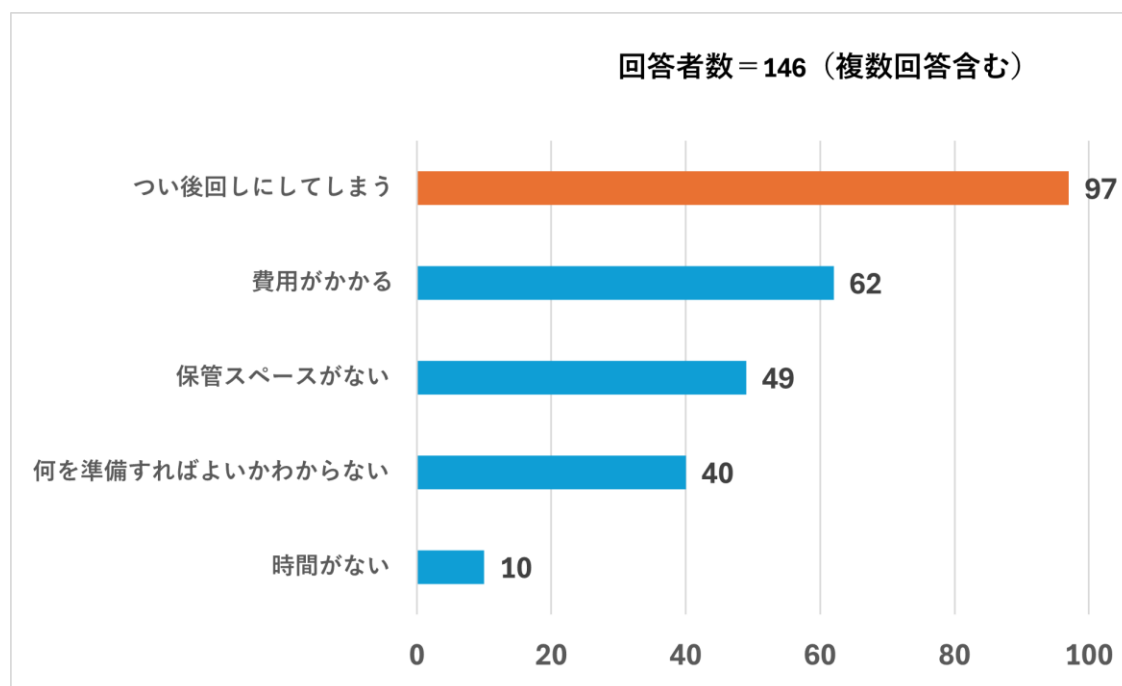
最も多かった回答は「飲料水」で、次いで「食料」が2位、「照明器具（懐中電灯など）」が3位という結果でした。命に直結する飲料水や食料への意識が高いことがうかがえました。

2-3. 定期的に防災グッズの見直しや点検をしていますか？



約8割が、定期的に防災グッズの見直しや点検を「していない」という結果になりました。一度備えても、定期的な見直しはされていないケースが大半であることがわかりました。

3. 防災グッズを準備する上で、気になることや負担に感じることはありますか？

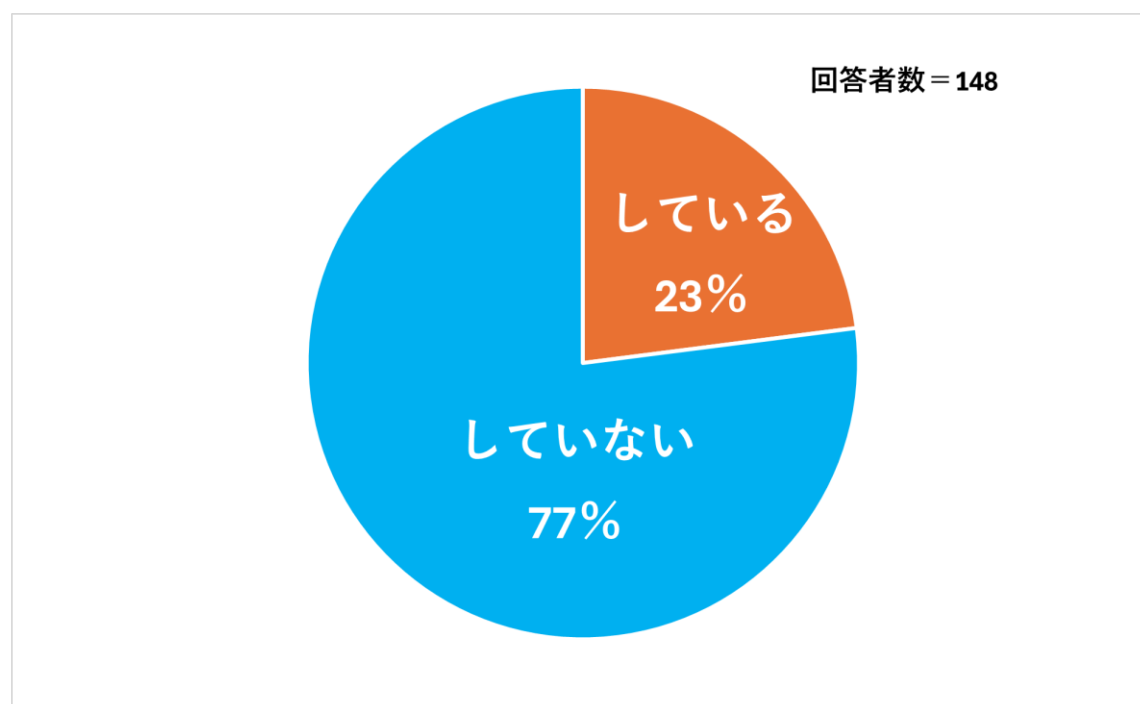


Best 3

- | | | |
|----|-------------|-----|
| 1位 | つい後回しにしてしまう | 97票 |
| 2位 | 費用がかかる | 62票 |
| 3位 | 保管スペースがない | 49票 |

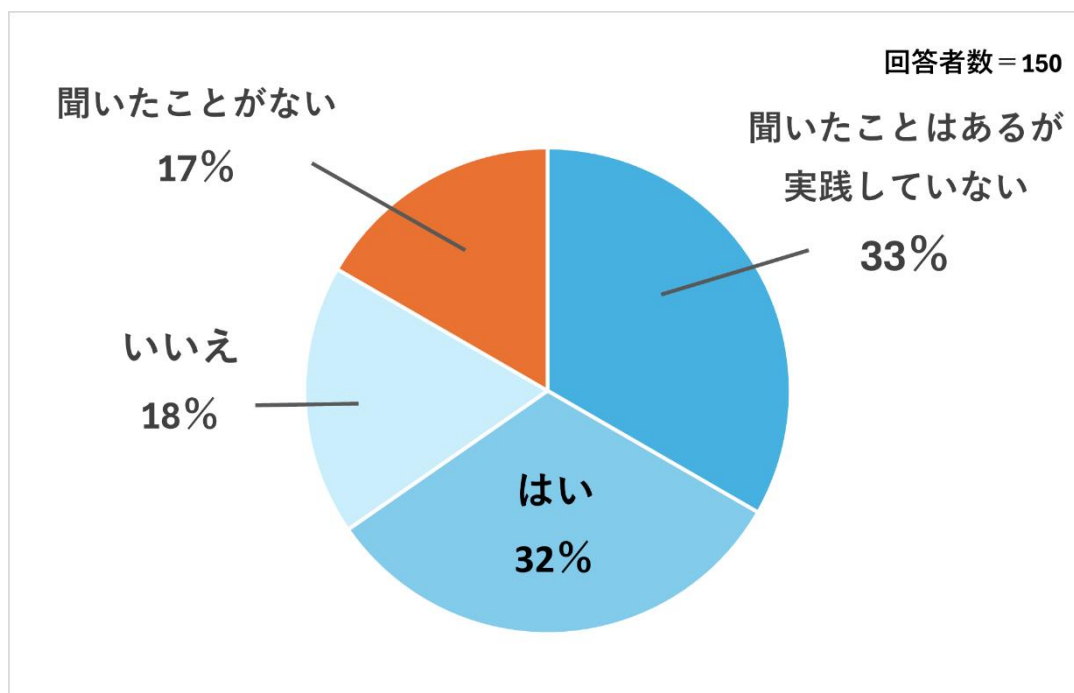
防災グッズを準備する上で、気になることや負担に感じることで最も多かったのが「つい後回しにしてしまう」。続いて「費用がかかる」が2位、「保管スペースがない」が3位という結果になりました。

4. 家具や家電の転倒防止対策（家具の固定など）をしていますか？



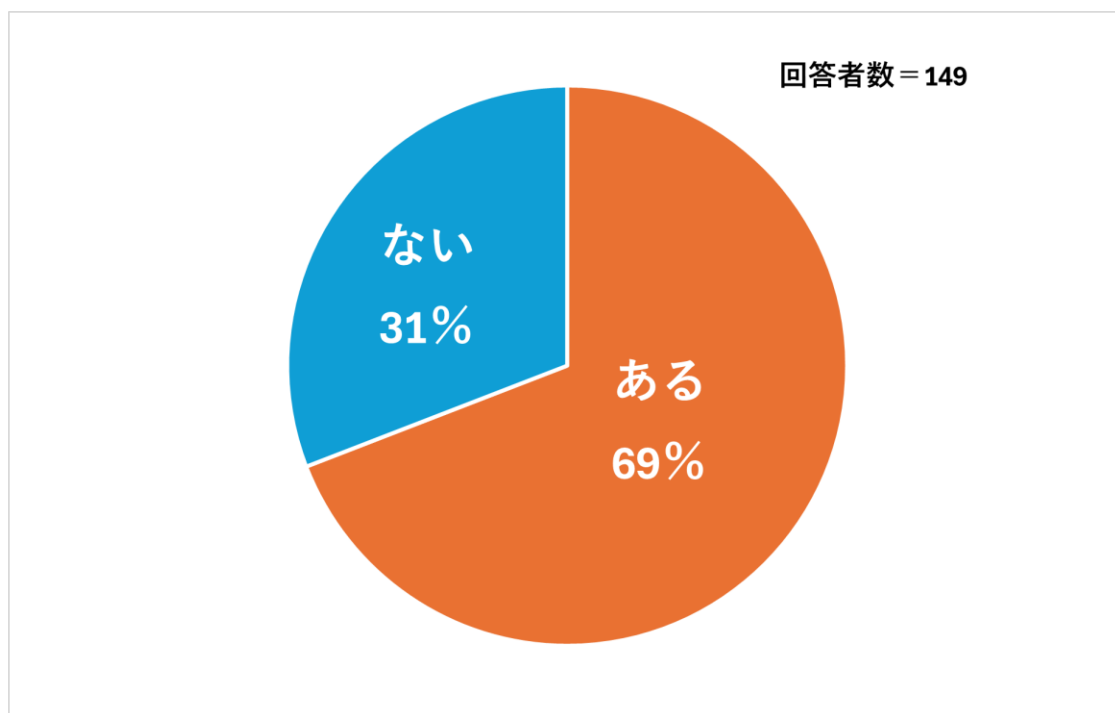
約 8 割が、家具や家電の転倒防止対策を「していない」、約 2 割が「している」という結果になりました。

5. スーパーでの買い物などで、「ローリングストック（使いながら備える）」を意識していますか？



約8割のヤクルトレディが「ローリングストック」という言葉を知っているものの、その中で実際に実践しているのは約4割という結果になりました。

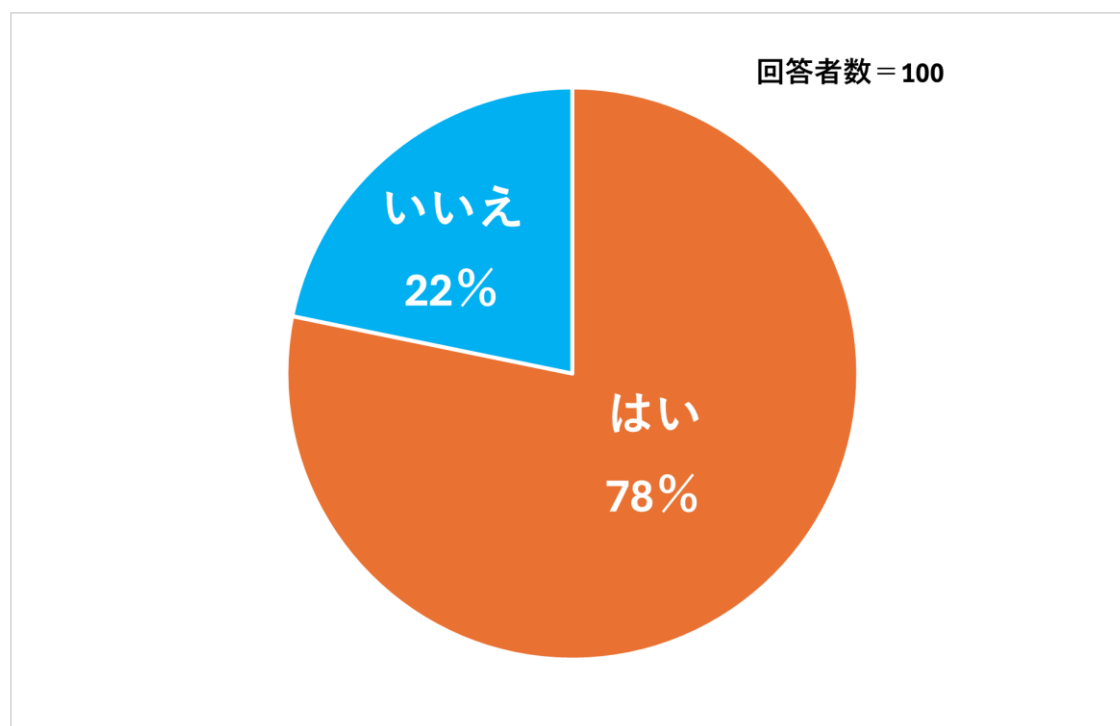
6-1. ご家族と防災について話すことはありますか？



約7割が家族と防災について話すことが「ある」と回答しました。

6-2. 災害時の避難場所を家族で共有していますか？

※以下の設問には、6-1で「ある」を回答された方がのみが回答



約8割が、家族で災害時の避難場所を共有していると回答しました。

7. ご家族（お子さま・高齢の方・ペットなど）に合わせた備えで、工夫していることがあれば教えてください

【お子さまに関して】

- ・子どもの部屋に背が高い家具は置かないようにしている
- ・おむつなど子どもに必要な物は多めに備えている
- ・子どもの食べ慣れている物を備える
- ・そのまままで食べられる離乳食や缶のミルクを用意している

【ペットに関して】

- ・なるべくペットフードは余分に買うようにしている
- ・ペット用キャリーを常に玄関に置いている
- ・ペットの物はリュックにひとまとめにして、「ここにある」と家族で共有している

【その他の意見】

- ・レトルトカレーなどは常にストックしている
- ・小さい子どもがいるので、オムツがサイズアウトして余っていたら防災グッズに加えるようにしている（簡易トイレに使えるため）
- ・玄関や廊下には物を置かず、スムーズに避難できるようにしている
- ・どう逃げるか、集合場所の確認、自分の命を最優先！と家族で共有している
- ・学校などで行う避難訓練の内容を共有する

「おむつなど子どもに必要な物は多めに備える」「ペットフードは常に余分に確保している」など、家庭の状況に応じた具体的な備えの工夫が見受けられました。

8. 災害時に「これだけは備えた方がいい！」と思うおすすめのグッズがあれば教えてください

【飲食物】

- ・ 水
- ・ インスタント食品

【衛生用品】

- ・ 簡易トイレ
- ・ トイレットペーパー
- ・ マウスウォッシュ
- ・ 爪切り
- ・ 耳かき
- ・ 水のいないシャンプー

【寝具・履物】

- ・ スリッパ（破片などでのけが防止）
- ・ 寝袋
- ・ テント

【電源・照明】

- ・ モバイルバッテリー
- ・ 手動で充電できる懐中電灯

【生活必需品】

- ・ 眼鏡、携帯（枕元に置いて寝る）
- ・ 小銭、現金

【その他】

- ・ 虫よけ用品、虫刺され薬など（夏場）
- ・ カセットコンロ
- ・ 連絡先を書いたメモ
- ・ 新築で注文住宅をお願いするときに都市ガスではなくプロパンガスでお願いし、エネファームもつけて自家発電している（避難所に行かずにすむように）

最も多かったのは「水」でした。その他にも「簡易トイレ」や「モバイルバッテリー」、アンケートを実施した時期が夏ということもあって「虫よけ用品」という意見も寄せられました。

9. 災害時に会社に期待することがあれば自由にご記入ください

【物資の提供に関して】

- ・生活必需品（ウェットシートや水、消毒液、トイレットペーパーなど）を提供してほしい
- ・防災グッズを会社で用意してほしい
- ・子どもがヤクルト大好きなので飲めたら嬉しい

【地域への支援・寄付に関して】

- ・乳製品などを避難所へ提供してほしい
- ・仕事中持っているヤクルトを寄付できるようにしてほしい
- ・水などを近所の人に配ってほしい

【避難場所に関して】

- ・ステーション※を避難所にしてほしい
- ・ステーションの屋根にソーラーパネルを設置して、災害時でも使えるようにしてほしい
- ・子どもの避難所の確保

【メンタル面の支援に関して】

- ・心のケア

「ヤクルト商品や飲食物を支給・寄付してほしい」との声が多数寄せられました。他にも「兵庫ヤクルト販売社屋やステーションを避難所として開放してほしい」、「防災グッズを支給してほしい」という意見もありました。

※ステーション…ヤクルトレディの拠点となるお店のこと。

10. まとめ

調査の結果、最も不安を感じている災害は「地震」と約8割のヤクルトレディが回答しました。一方で、防災グッズの備えについては、備えている人と備えていない人がほぼ半々という結果になりました。さらに、備えていると答えた方のうち約8割が「定期的な点検はしていない」と回答しており、備えの継続に課題があることが分かりました。

防災グッズの内容としては、「飲料水」「食料」が上位に挙げられており、命に直結する物品に対する意識の高さがうかがえます。しかし、準備が進まない理由としては、「つい後回しにしてしまう」「費用がかかる」「保管スペースがない」といった声が多く、備えたいという意識はありながらも、行動に移すハードルの高さが浮き彫りとなりました。

一方で、家族との防災に関する話し合いを「実施している」と回答した方は約7割にのぼり、家族間で避難場所の共有も進んでいることがわかりました。また、「おむつなど子どもに必要な物は多めに備える」「ペットフードは常に余分に確保している」といった、家族構成に応じた具体的な工夫も見受けられました。さらに、会社への期待としては「飲食物の支給」「避難所の提供」「防災グッズの支給」などがあげられ、職場における支援への期待も一定数あることがうかがえました。

今回の調査を通じて、日常の中での備えの重要性和、その一歩を踏み出す難しさが明らかになりましたが、一人ひとりの意識と行動こそが、ご自身とご家族の命を守る力になります。

阪神・淡路大震災から30年が経過しました。当時、兵庫ヤクルト販売も大きな被害を受けましたが、地域の皆さまや他のヤクルト販売会社に多くのご支援をいただきました。今もその感謝の気持ちを忘れることはありません。私たちはその経験を教訓として、社内でも防災研修会の開催などを通じ、災害への心構えや知識を深める機会づくりに取り組んでいます。

この機会に今一度、ご家庭でもできることから少しずつ防災への備えを進めていただければ幸いです。